

# SIDR 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

## 月報 平成 27 年(2015 年) 5 月

発行年月日:平成 27 年(2015 年)6 月 23 日  
 発行:滋賀県感染症情報センター

滋賀県衛生科学センター  
 電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548  
 e-mail:eh4505@pref.shiga.lg.jp

感染症発生動向調査事業において、滋賀県が指定した定点医療機関(指定届出機関)から報告される感染症を定点把握対象感染症と呼びます。それらの疾病のうち、性感染症定点 9 機関(産科婦科系 4 機関および泌尿器科若しくは皮膚科 5 機関)から報告される性感染症 4 疾病と基幹定点 7 機関(およそ患者を 300 人以上収容できる施設)から報告される薬剤耐性菌感染症 4 疾病の患者数は、月を調査単位として集計しています。

### 1. 平成 27 年 5 月の概要

#### (1) 性感染症

性器クラミジア感染症: 定点当たり報告数: 0.33 (先月;0.56)  
 性器ヘルペスウイルス感染症: 定点当たり報告数: 0.33 (先月;0.22)  
 尖圭コンジローマ: 定点当たり報告数: 0.11 (先月;0.78)  
 淋菌感染症: 定点当たり報告数: 0.22 (先月;報告なし)

#### (2) 薬剤耐性菌感染症

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌: 定点当たり報告数: 2.57 (先月;2.43)  
 ペニシリン耐性肺炎球菌: 定点当たり報告数: 0.14 (先月;0.14)  
 薬剤耐性緑膿菌感染症: 定点当たり報告数: 報告なし (先月;報告なし)

### 2. 定点報告数および定点当たり報告数

#### 《当月まで 1 年間の推移》

#### (1) 性感染症

疾病名	平成26年								平成27年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
性器クラミジア感染症	5	9	5	5	10	6	2	6	2	4	4	5	3
	0.56	1	0.56	0.56	1.11	0.67	0.22	0.67	0.22	0.44	0.44	0.56	0.33
性器ヘルペスウイルス感染症	6	4	3	1	0	2	0	3	3	6	1	2	3
	0.67	0.44	0.33	0.11	0	0.22	0	0.33	0.33	0.67	0.11	0.22	0.33
尖圭コンジローマ	3	4	1	4	1	2	3	2	3	1	3	7	1
	0.33	0.44	0.11	0.44	0.11	0.22	0.33	0.22	0.33	0.11	0.33	0.78	0.11
淋菌感染症	3	1	2	7	2	0	1	2	1	2	1	0	2
	0.33	0.11	0.22	0.78	0.22	0	0.11	0.22	0.11	0.22	0.11	0	0.22

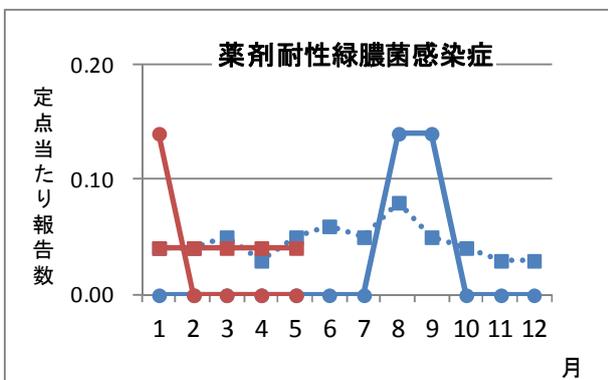
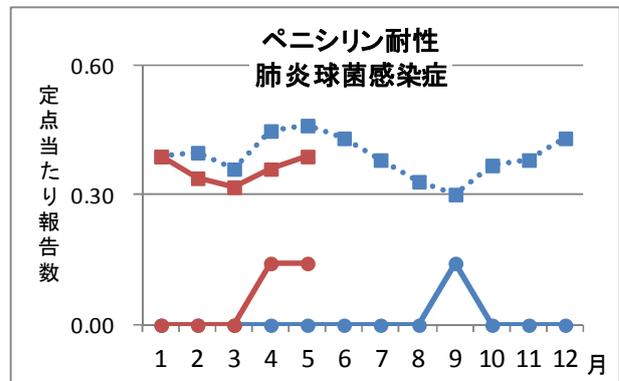
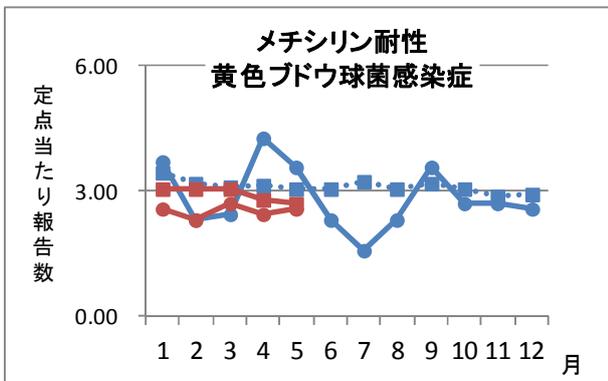
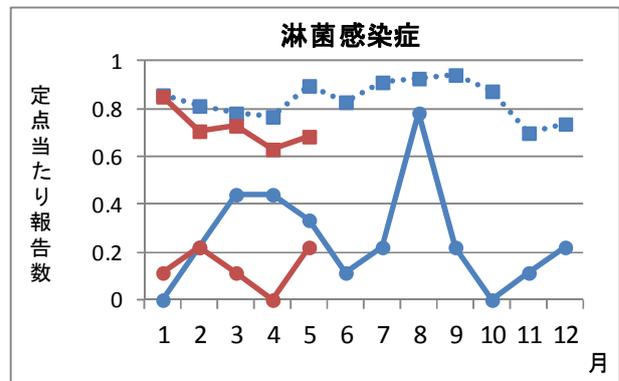
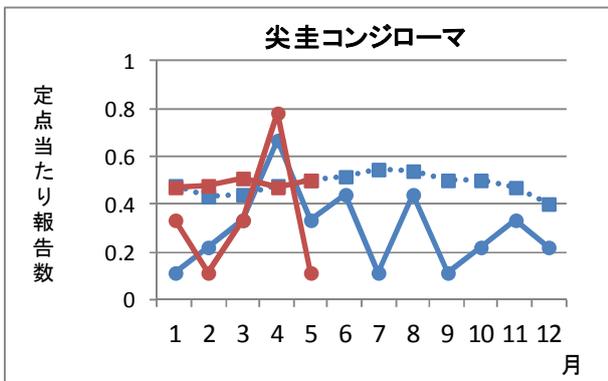
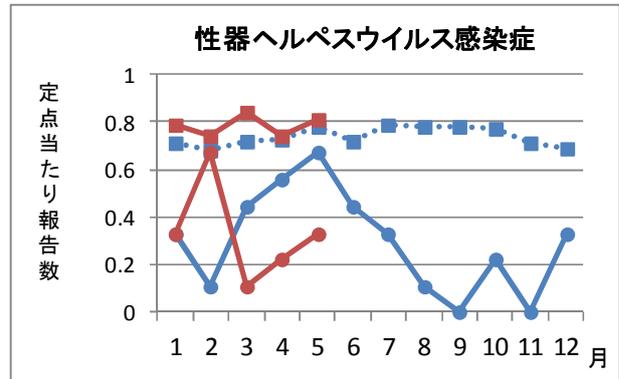
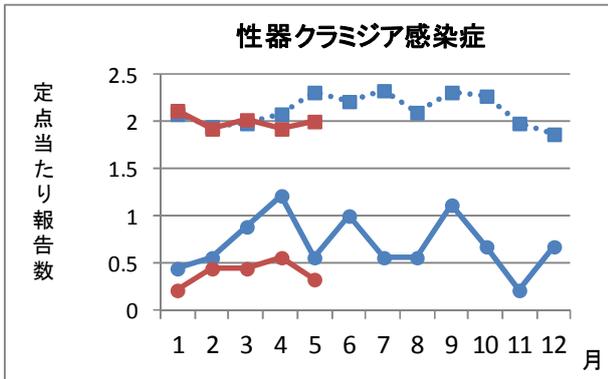
上段: 報告数

下段: 定点当たり報告数



## 5. 疾患別の定点当たり報告数の推移（全国・滋賀県）

—●— 平成26年 全国    —●— 平成26年 滋賀県  
—■— 平成27年 全国    —●— 平成27年 滋賀県



滋賀県内における病原体の動向を把握するために、滋賀県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づいて選定されている病原体定点病院などにおいて採取された検体について検査を実施し、採取月毎にウイルスの分離検出状況を表に集計しました。更新部分を      で着色して示しています。

### 1. 2015 年 5 月検出分の結果(下表)

- (1) 上気道炎、下気道炎、咽頭炎、扁桃炎、気管支炎、肺炎等
  - ア RS ウイルスが 2015 年3月採取の検体から2株、4月採取の検体から1株検出されました。
  - イ ヒトメタニューモウイルスが 2015 年2月採取の検体から1株、3月採取の検体から4株検出されました。
  - ウ ライノウイルスが 2015 年1月、2月採取の検体から各1株、3月採取の検体から3株検出されました。
  - エ ヘルペスウイルス1型が 2015 年2月採取の検体から1株検出されました。
  - オ アデノウイルス2型が 2015 年3月採取の検体から1株検出されました。
- (2) インフルエンザ
  - ア インフルエンザウイルス AH3亜型と B 型 Yamagata 系統が 2015 年4月採取の検体から各1株検出されました。
- (3) 脳炎
  - ア ライノウイルスが3月採取の検体から1株検出されました。
- (4) けいれん
  - ア ライノウイルスが3月採取の検体から1株検出されました。

### 2. 参考

- (1) ノロウイルス
  - ア ヒトの腸管で増殖し、発熱、おう吐、下痢、腹痛などの胃腸炎症状を引き起こすウイルス。
  - イ 11～3月の主に冬季に多発し、12～1月が流行のピーク。
  - ウ 手指や食品などを介して、経口で感染し、感染から発症までの時間はおよそ24～48時間。
  - エ 平成 26 年の病因物質別に食中毒発生状況をみると、ノロウイルスによる食中毒は事件数はカンピロバクターに次いで第2位、患者数は第1位。
- (2) インフルエンザウイルス
  - ア 風邪の症状に加え、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状を引き起こすインフルエンザの原因ウイルス。
  - イ A 型・B 型・C 型が存在するが、主に人で流行するのは A 型および B 型。
  - ウ A 型が 12～1月に流行することが多いのに対して、B 型は 2月から春先にかけて流行することが多い。
- (3) RS ウイルス
  - ア 軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々な呼吸器症状を引き起こすウイルス。
  - イ 秋から冬にかけて多く検出されている。
- (4) ヒトメタニューモウイルス
  - ア 臨床症状は RS ウイルス感染症と同様に発熱、鼻汁、咳であるが、小児においては喘鳴を伴う気管支炎や肺炎を起こすこともあるウイルスである。
- (5) ライノウイルス
  - ア 鼻漏、鼻閉、くしゃみなどの風邪の病因ウイルス。
  - イ 一年を通じて検出されている。
- (6) ヘルペスウイルス
  - ア 皮膚粘膜ヘルペス、新生児ヘルペス、ヘルペス脳炎等さまざまな疾患を引き起こすウイルス。
  - イ ウイルスは神経節に潜伏感染し、症状を反復する特徴がある。
- (7) アデノウイルス
  - ア 軽いかぜ程度から重症の扁桃腺炎や肺炎、さらには結膜炎やおう吐下痢症などを引き起こすウイルス。
  - イ 血清型によって症状が異なる。



疾患名*	ウイルス型	検体種別	合計	検体採取月																							
				2013年			2014年												2015年								
				10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月					
皮膚疾患	発疹	ライノウイルス	ぬぐい液	1																							
		コクサッキーウイルスA群9型	ぬぐい液	1																							
		エコーウイルス25型	ぬぐい液	1																							
	紅斑	アデノウイルス4型	ぬぐい液	1																							
		ライノウイルス	ぬぐい液	1																							
	手足口病	ライノウイルス	ぬぐい液	1																							
		エンテロウイルス71型	ぬぐい液	1	1																						
		コクサッキーウイルスA群6型	ぬぐい液	3	1																						
		コクサッキーウイルスA群16型	ぬぐい液	1																							
	ヘルパンギーナ	エコーウイルス18型	ぬぐい液	1																							
		アデノウイルス2型	ぬぐい液	1																							
		コクサッキーウイルスA群2型	ぬぐい液	2																							
		コクサッキーウイルスA群2型	糞便	1																							
		コクサッキーウイルスA群4型	ぬぐい液	3																							
エコーウイルス11型		ぬぐい液	1																								
脳炎・脳症	ライノウイルス	ぬぐい液	3																						1		
	コクサッキーウイルスA群4型	ぬぐい液	1																								
	コクサッキーウイルスA群4型	糞便	1																								
	コクサッキーウイルスB群4型	ぬぐい液	1																								
	アデノウイルス3型	糞便	1																						1		
	アデノウイルス4型	ぬぐい液	1																								
	サボウイルス	糞便	1																								
	A群ロタウイルスG1型	ぬぐい液	1																								
	A群ロタウイルスG1型	髄液	1																								
	ライノウイルス	ぬぐい液	2																								
	ライノウイルス	糞便	1	1																							
	エコーウイルス3型	ぬぐい液	1																								
	エコーウイルス3型	髄液	1																								
	エコーウイルス11型	ぬぐい液	1																						1		
エコーウイルス11型	糞便	1																						1			
エコーウイルス11型	髄液	2																						2			
エコーウイルス11型	血清	1																						1			
エコーウイルス18型	髄液	1																						1			
エコーウイルス25型	糞便	1																						1			
エコーウイルス30型	ぬぐい液	1																						1			
エコーウイルス30型	髄液	1																						1			
コクサッキーウイルスA群4型	ぬぐい液	1																						1			
コクサッキーウイルスA群4型	糞便	1																						1			
コクサッキーウイルスB群5型	髄液	1																						1			
コクサッキーウイルスB群5型	糞便	1																						1			
A群ロタウイルスG1型	ぬぐい液	1																						1			
ムンブスウイルス	髄液	1																						1			
けいれん	ライノウイルス	ぬぐい液																							1		
	アデノウイルス2型	ぬぐい液	1																						1		
	アデノウイルス2型	糞便	1																						1		
	コクサッキーウイルスB群5型	ぬぐい液	1																						1		
	コクサッキーウイルスB群5型	糞便	1																						1		
	コクサッキーウイルスB群5型	髄液	1																						1		
咽頭結膜熱	アデノウイルス3型	ぬぐい液	5																						1		
	アデノウイルス5型	ぬぐい液	1																						2		
流行性角結膜炎(結膜炎等含む)	アデノウイルス3型	ぬぐい液	2																						1		
ヘルペス口内炎	エコーウイルス3型	ぬぐい液	1																						1		
	ヘルペスウイルス1型	ぬぐい液	1																						1		
不明熱	RSウイルス	ぬぐい液	2																						1		
	ライノウイルス	ぬぐい液	4																						1		
	コクサッキーウイルスA群2型	糞便	2																						2		
	エコーウイルス3型	ぬぐい液	1																						1		
	エコーウイルス18型	ぬぐい液	2																						1		
	エコーウイルス18型	糞便	2																						1		
	エコーウイルス18型	髄液	1																						1		
その他	ハレコウイルス	ぬぐい液	1																						1		
	ライノウイルス	ぬぐい液	2																						1		
	RSウイルス	ぬぐい液	1																						1		
	コクサッキーウイルスA群8型	糞便	1	1																							

ぬぐい液: 鼻腔ぬぐい液または咽頭ぬぐい液

\*: 診断名または臨床症状により分類しています。

ウイルス検査は遺伝子検査や細胞培養によるウイルス分離を行うため、検査結果が出るまでに2か月程度を要します。そのため、現時点で判明しているウイルスの分離検出状況を示しています。